



横浜市立太尾小学校

学校だより

令和3年度6月号

令和3年5月31日発行

＜ 豊かに学び とともに未来をひらく 太尾の子 ＞

どのような未来を描いていますか

校長 館 雅之



今年度の学校説明会は紙面での説明とさせていただきます。実際にお集まりいただき、直接私の方からご説明することが難しい状況ですので、後日、紙面をお読みください。

さて、この会では学校教育目標をふまえ、今の子ども、学校の状況をとらえ、どのようなことに重点をおいて今年度の学校経営をしていくかをお話ししています。紙面をお読みいただく前に少し考えていただきたいことを本号では書かせていただきます。

本校の学校教育目標はこの学校だよりのタイトルの下にいつも掲載しているのですが、「豊かに学び とともに未来をひらく 太尾の子」です。

今回は、「未来」について考えてみましょう。

皆さんが望んでいる“未来の社会”は？



いきなり問われて何をどのように考えてよいかお困りの方はこのQRコードから動画を視聴して考えてみてください。

「未来の社会」を考える過程で重要なことは「社会」のとらえです。「～したいが、でも社会が～」と言う人がいますが、この場合の「社会」には自分はいらっしゃいますか。自分は社会の外にいる考えになっていないでしょうか。でも実際には、自分は社会の中に入っています。「未来の社会」を考えていただく際のポイントは、考える「社会」ではその中の人々はどう関わっているかということをお考えください。

次にこのようなことを考えてみましょう。

そのために

学校はどうあるべきでしょうか？

ここでは「学校」について考えていただきますが、お子さんの姿（上記の学校教育目標はそこを前面に出しているのですが）は、どうあるべきでしょうか。

さらに、家庭との関わりをここでの「学校」に含めて考えていただくこともよいでしょう。

少し、遠い話をしているようですが、目指す方向を確かめ合うことが、学校教育目標を話題にすることだと考えますのでご理解下さい。

学校教育目標は大きな目標であるため、頻繁に変えることは私は考えないのですが、そこに示している言葉の吟味は流行とともに確かめることが大切であると考えています。

そのため今回、コロナが契機となり再吟味したいことは「未来」像でありますので、ぜひこの2つについてご意見、お考えをいただければ幸いです。

右のQRコードからお答えいただければありがたいです。



水泳学習は6年生のみで実施します

今年度のプールを使用しての水泳学習は、6年生のみの実施といたします。昨年度は健康診断が実施できていない状況もあり全市で中止となりましたが、今年度は各学校で判断することになっています。

実施に当たっては、「授業中、児童生徒に不必要な会話や発声を行わないよう指導するとともに、プール内で密集しないよう、プールに一斉に大人数の児童生徒が入らないようにすること。プール内だけでなくプールサイドでも児童生徒の間隔は2m以上を保つことができるよう、複数のクラスによる合同授業はなるべく避けること。」が必要ですので、6年生は学級ごとに、全3時間扱いで計画をします。

高学年の水泳運動に「安全確保につながる運動」が新設されたことから、背浮きや浮き沈みをしながらタイミングよく呼吸したり、続けて長く浮くことができることをねらいとした学習内容で実施します。着衣泳についても小学校で経験しておくことが大切であることからそこに含める計画で行います。

なお、他学年については「適切な水泳場の確保が困難な場合は、（中略）行わないことができるが、それらを安全に行うための心得については必ず取り上げること」に従い、プールを使用しませんがこれらの指導内容を扱った学習を計画します。

本校の児童数、プール、プールサイドの広さ、距離をおいた着替えができる更衣室の確保、また子どもの発達段階を総合的に考え、このような実施といたします。ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、実施日に緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令されている場合は、実施をいたしません。